

令和5年度 豊中市公民分館協議会全体交流会

次世代につなぐ分館活動

報告 豊中市公民分館北部ブロック協議会

豊中市公民分館協議会全体交流会 に向けて

○経過

コロナによる活動制限の影響。

組織内、関係機関間との交流や人のつながりの弱体化。

○北部ブロック協議会としての取り組み

ブロック会議 4月5日, 5月29日, 7月11日, 8月31日, 11月16日, 2月1日

アンケート 2回実施

打ち合わせ 5月11日, 7月28日, 8月24日, 9月13日, 10月11日, 1月18日

○話し合った内容

- 地域の将来像や分館として大事にしたいもの
- 現状と課題
- 今後の方向について

◆ 地域の将来像、大事にしたいもの

○地域の繋がり、コミュニティを大事にした地域づくり
安心・安全の地域づくり

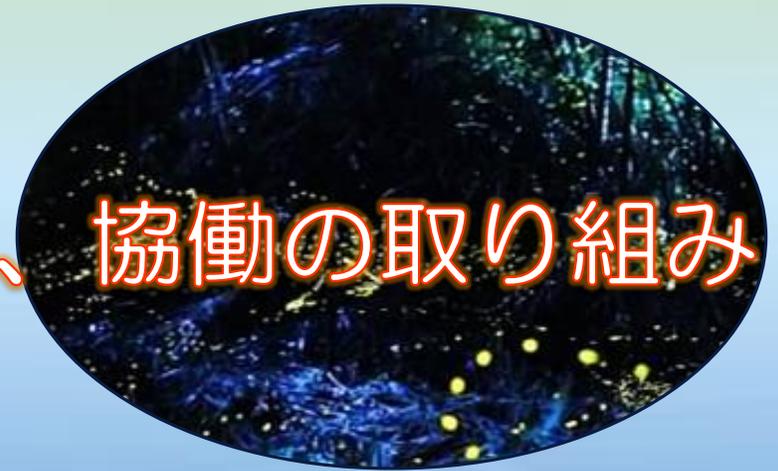




取り組みとして



- 伝統行事の継承と発展
- 地域の特性を生かした取り組み
- 現行分館行事の維持・継続
- 校区内の各関係機関との連携の充実、協働の取り組み



◆ 現状と課題

- ・参加者は増えるという成果の一方、開催側の人員は減る一方。
- ・人材や人員の不足、組織的な連携の弱体化や温度差。
自治会組織率低下による会員の減少や高齢化。
学校を中心に働き方改革の影響。
学校やPTAとの温度差。
核家族化や住民の転出入によるコミュニティの希薄化。
- ・情報の提供・伝達の手段が限られてる。分館への連絡方法（窓口）が不透明。
- ・新規事業を行える予算がない。
- ・次世代との交流、若い世代や子ども達との接点が作りにくい。



分館（北部ブロック）の温暖化

◆ 今後の方向性

- ・ 関係団体・機関等との連携の再構築
- ・ 行事のシンプル化（内容の工夫を凝らし準備などの負担軽減を図る）
- ・ 幅広い年齢層（特に子どもや若年層）、転入者が参加しやすい（したくなる）行事 → 将来への種まき
- ・ 情報の受発信機能の強化と多様化



小学校との連携の強化（発信力含む）

会議を通して...

- ◆ 各分館の地域の特性・規模・問題点は異なるが、今後の方向性が互いに確認できた。
- ◆ 学校との信頼関係、連携を通して子ども・保護者との交流の場、一緒に動ける場の設定が必要。
- ◆ 各種団体との連携を大事にしながら、継続して取り組むこと（SDGS）で世代をつなぎ、地域愛の醸成と活性化を図りつつ、次代の人材発掘にもつなげていきたいと思えます。

ご清聴 ありがとうございます。